

出前講座報告書

開催日時	令和8年2月2日（月）午後1時30分～午後3時		
開催場所	伊賀市役所本庁舎5階 伊賀市議会 全員協議会室		
申請団体等名称	伊賀市農業委員会		
テーマ	遊休農地・荒廃農地問題等に関する意見交換		
委員会名等	産業建設常任委員会		
出席議員	北山太加視（委員長）、陶山美佐（副委員長）、内原篤、西田方計、宮崎栄樹		
	中岡久徳	記録者	北山太加視

【講座・意見交換等の主な内容、対応等】

- ・今回の出前講座開催に際し、常任委員会委員からの質問を想定し、農業委員会事務局、農林振興課、消防本部予防課、環境センターから職員の出席を委員長から要請して実施しました。
- ・冒頭、坂本会長からの挨拶で、今回で3回目の意見交換（出前講座）の開催となること。農業委員会は委員が24名、農地利用最適化推進委員56名で組織し、毎月の月次総会と新規営農面談を開催しているとの説明を受ける。
- ・委員から、身近な所で農地荒廃が増え、草刈りを行ってこない等の問題提起がなされる。このことについては、以下のとおりです。
- ・地域計画あるいは中山間地域直接支払制度、多面的機能支払等の協定地域外であっても農地の草刈りを行う事業、独自に活動する集落もあるとのこと。農林振興課から、地域計画は97集落が提出済み、令和7年3月の時点で約60から3段階で97集落に積み上がったこと、現在も5集落が検討中との報告がなされる。また、農地法第2条による農地所有者の義務の認識が重要であるとの認識も出された。
- ・本件に関連して、「伊賀市あき地の雑草等の除去に関する条例」による指導状況についての問いには、通知について、環境センターでは11月末までに456件に達したこと、消防では12月から現在まで約400件という状況との報告を受ける。さらに、環境センターからは通知文書を2回送付するが30%は届かない。消防も約1割が宛先不明で戻ってくるとのこと。
- ・前会長当時に農政局へ要請して現地確認に来てもらった際に、現状を見て「観光資源になる」というような発言もあり、真剣さを疑うこともあったと委員が吐露する発言もあった。
- ・農地中間管理機構を利用するにしても、引き受け手を探しておかないと受理されない様だとの発言もあった。
- ・議員から農業委員会の活動を知らせる広報等について話が及んだ際、広報ページの拡大を求める意見や、農業委員選出の重要性や活動について、住民の理解不足に困っている等の発言もあった。甲賀市では、広報は充実しているようだとの情報も。

主に以上のような意見交換を行いました。

伊賀市議会議長 様

令和8年2月4日

議会出前講座実施要綱第11条第1項の規定により提出します。

産業建設常任委員会 委員長 北山太加視